

建 議 文

凡そ 我國時弊の由つて來る所は 畢竟 我皇道の眞諦を閑却し 制を建て事を圖るに概ね功利を旨とし 彼我交々相せめぎ來つた結果に外なりませぬ 今日巷間に提起される産業及労働に關する諸問題の如きも 概して其根本を究めずして 唯物的なる功利思想に其の基調を求めざるやの憾みなしとせぬのであります

我が日本産業労働俱樂部關係者一同は茲に鑑みる所あり 何れも 肇國の精神を體し 深く時相を徹見して 各自其の分を盡す事こそ 國家興隆の本た